

様式第3号（第7条関係）

第2回水戸市廃棄物減量等推進審議会 会議録

1 附属機関の会議の名称

第2回水戸市廃棄物減量等推進審議会

2 開催日時

令和5年10月12日（木）午前10時00分から午前11時30分まで

3 開催場所

水戸市役所本庁舎4階 政策会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委員

蓮井誠一郎，萩野谷均，須田浩和，藤咲利枝子，北條てるよ，江幡裕，鵜田ナガ子，室井洋，
稲田加寿子，林由香里，川崎晃一，大嶋弘章

(2) 執行機関

佐藤則行生活環境部長，萩沼学生活環境部参事兼廃棄物対策課長，高安正紀ごみ減量課長，会沢知
洋ごみ減量課副参事兼課長補佐，本澤佑司ごみ減量課減量係長，岡田吉徳ごみ減量課計画係長，大
滝啓太ごみ減量課計画係主事，足立茂清掃事務所次長，安部治憲清掃事務所集団資源係長

(3) その他

欠席委員 袴塚孝雄，篠崎勉，市野沢秀夫

5 議題及び公開・非公開の別

(1) 水戸市ごみ処理基本計画（第4次）骨子（案）について（公開）

(2) その他（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。）

なし

8 会議資料の名称

令和5年度第2回水戸市廃棄物減量等推進審議会会議次第

水戸市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

水戸市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例抜粋

資料 水戸市ごみ処理基本計画（第4次）骨子（案）

別添資料 施策体系と主な取組例

9 発言の内容

【執行機関】本日はお忙しい中、水戸市廃棄物減量等推進審議会に御参集をいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから令和5年第2回水戸市廃棄物減量等推進審議会をはじめさせていただきます。初めに、お配りいたしました資料の確認をさせていただきます。資料は1つ目が会議次第、2つ目が審議会委員名簿、3つ目が水戸市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例抜粋、4つ目が水戸市ごみ処理基本計画（第4次）骨子（案）、5つ目が参考資料で施策体系と主な取組例でございます。不足はございませんでしょうか。

（不足なし）

【執行機関】それでは、まず、____会長より御挨拶を頂戴したいと思います。____会長御挨拶をお願いいたします。

（会長挨拶）

【執行機関】本日、____委員並びに____委員につきましては、所用のため欠席となっておりますので、御報告いたします。なお、本日の審議会につきましては、水戸市附属機関の会議の公開に関する規程第3条により、公開とさせていただきます。それでは、会議次第の3、議題に入らせていただきます。これからの進行につきましては、水戸市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第10条第3項に基づき、____会長に議長をお願いいたします。なお、本日の審議会につきましては、同条例第10条第2項の規定に基づき、半数以上の委員の御出席をいただいておりますので、成立したことを報告いたします。それでは____会長よろしくをお願いいたします。

【会長】ただいま事務局の方からありましたように、議長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。皆様に御協力をいただきまして、円滑に進めて参りたいと思います。まず、議題にはいる前に本日の議事録署名人を指名いたします。今回は、____様、____様をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。それでは議題に入らせていただきます。議題（1）水戸市ごみ処理基本計画（第4次）骨子（案）について事務局より説明をお願いいたします。

【執行機関】（議題（1）について、資料及び別添資料に基づき説明）

【会長】事務局からの資料等の説明がありましたが、章ごとに分けて確認して参りたいと思います。まず、短いですが第1章の計画策定の趣旨という部分です。ここについて何か御指摘、御質問等ございますでしょうか。

（特になし）

では、第2章に参ります。どこからでも構いませんので、こちらで気になった点等ございましたら御指摘いただければと思います。御意見等ございませんでしょうか

【____委員】水戸市においては、計画は着実に遂行されているという形を見受けられます。このまま進んでいけば循環型社会を構築していけるのかなと思いますが、終盤になって国県目標が出てきます。国県目標まで1人1日当たりごみ総排出量が150g前後とあり追いついていない状態です。そこで1点目、この目標を達成するのは厳しいのかどうかを知りたいので他市町村が国県目標に達しているのかどうかは把握していますか。例えば、水戸と人口規模が近く県内で経済圏も一緒である、つくば市、ひたちなか市、日立市なども水戸と同じように目標を達していないのかどうかをお伺いしたいと思います。

【執行機関】他市町村の国県の目標達成状況については、こちらで把握しておりません。今後、他市町村の動向を調査したいと思います。

【____委員】他市町村の達成状況を見るということは、当然ながら国県の目標が厳しく設定されているのかどうか、私達の判断基準になると思います。県内類似市以外にも、例えば水戸と類似している市町村を調べて達成ができるものなのか、それとも難しいものなのかを把握をしていただきたいと思います。

2つ目ですが、水戸市のごみの排出量が多いということは、簡単に想像すると、1人1人の所得が多い市は、ごみも増えてしまうのかなと勝手な想像をしています。また、分別がなかなか進まない文化であるとか、色々な理由があるかと思います。国県の目標を達成したいというのが当然ですが、水戸市独自のごみが多い理由があるのかどうか、そこを突き詰めれば国県の目標を達成することができると思います。その把握というのはされていますか。

【執行機関】水戸市でのごみの排出量が多い要因ですが、把握していないのが現状です。____委員のご指摘を踏まえまして、調査・研究をして参りたいと考えております。

【____委員】要因を把握していないと、結果として目標に到達せず、何となく計画を進めてしまうことになると思います。例えば、場当たり的に分別を増やしましょう、そうすれば目標を達成できるのかなといった計画になってしまうと思います。そういう意味では、水戸市のその原因というものを、ある程度把握することが必要だと思います。ただ、分析もできるものとできないものがあると思います。できない場合は仕方ないですが、これまでそういう検討がされていないのなら、なぜ水戸はごみ量が多いのかななどを検証していけば国県の目標に届くのかなと思います。もちろん予算もありますので、できる範囲でやっていただきたいと思います。

3つ目ですが、国県目標も水戸の目標値と一緒に、毎年下がっていくものかという単純な質問させてください。重要なことではないですが、これを聞くというのは、国県の目標が毎年下がっていくとすれば、水戸が定めた目標の下がっていく率と、永遠に乖離していく可能性があります。国県がどんどん下がっていき、水戸は少しずつ下がっていくことがあると、私は水戸の計画だけを見ても、良くできてる、良くできてると思うが、実際には社会的に取り残されているのだと思ってしまいます。国県の目標値が下がっていくかどうか、またどのように下がっていくのか、それに少しでも近づいているのが重要であると思います。結局SDGs、また循環型社会の構築というのは、水戸市内で完結しているものではなく、日本・世界全体で完結していくものです。そういう意味では国県の目標値に追いつ

いていく必要があります。ぜひそれに近づくような計画を立てるために、国権の目標はどんどん減っていくのか、またそれにどのように近づいていくのか、そのような視点を持って計画を作成していただければ、よりよい計画となると思いますので、意見として申し述べておきます。以上です。

【会長】この問題に関しては、非常に難しい問題かと思います。他市町村の状況であるとか、色々な要素が絡んでくると思います。こちらからの御指名で申し訳ないですが、___委員がこのようなことについて同じ業者間の中で言われていることが何かございますか。もしありましたら、お手元のボタンを押して御発言願います。

【___委員】ごみの排出に関しましては、この骨子（案）でもありますが、飲食店であれば食品残渣を減らせば排出されている事業系ごみを減らしていくことができると思います。今までの取組の中ではごみの減量に協力してくださいと言うだけになっていて、飲食店から出るごみに関してはきちんと分別してリサイクルに回してくださいというところまでは現状できていない状況です。そのようなことをすることによって量的なものは違ってくると思います。

【会長】ありがとうございます。9ページの上段にございます、事業系ごみ排出量の種類別を見ていただくと、圧倒的に燃えるごみが占めています。この内訳が分からないと、リサイクルのしようもありません。恐らく多種多様なごみが混じっていると思いますが、事業系ごみの中で燃えるごみということにメスを入れていくことが今後の課題になってくるのかなと、感じたところです。それでは他の質問事項について、何かございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょう。

【___委員】分からないところがありまして、24ページで事業系ごみの排出量だけが目標値に達していない状況ですが、原因は分かりますでしょうか。

【執行機関】事業系ごみの対策につきましては、家庭系ごみに、事業系ごみが混ざって排出されている状況がございます。現場における指導や、広報みとなどによる事業系ごみの分別・適正排出についての指導を実施してきましたが、御指摘のありました事業系ごみの減量につきましては、重点的な取組が足りなかったのではないかと推測されます。第4次計画の中で、事業系ごみの減量について、重点的に取り組んで参りたいと考えております。

【会長】この事業系ごみの問題というのは、一筋縄ではいかないというところは分かります。事業系ごみについて、___委員はいかがでしょう。

【___委員】事業系と関連する4ページで昼間人口が109%というところで流入超過がみられるとあります。皆さん水戸に来て昼間働き、お昼などをとられたりすると思います。そういったところでごみが増えるのではないかと想定しました。そのような会社で出されたごみというのは、事業系ごみに該当するのでしょうか。

【執行機関】家庭系ごみか、事業系ごみかの排出区分のお話ですが、基本的に事業活動に伴って生じる全てのごみ、例えばお昼休憩で排出されたごみは、事業系ごみです。

【___委員】ありがとうございます。やはり昼間に来ていらっしゃる方にも、分別してもらっていくことが事業系ごみを減らす対策になるのかなと思います。

【会 長】私は、大学に勤務しておりますけれども、コロナ以降、特にテイクアウト等でのランチタイムというのが非常に増えて、かつ定着した部分があると思います。大学にもキッチンカーが何台も来ておりまして、学生や職員の多くがテイクアウトで食事をとりますが、ほぼ使い捨ての容器になっています。それが当然学内のごみ箱に捨てられ事業系のごみとして分別もされていないのが現状です。ですので、これが家庭に持ち帰られて捨てられれば、家庭系ごみとして分別されて捨てられるということになると思います。これは学内でも社内でも同じだと思います。やはりごみ箱があって、一応分別はされているかと思いますが、家庭ほど細かくは分別されていない。そのような中で事業系ごみを削減する方法として、例えばランチで個人的に出したごみの持ち帰りというのも一つの方法になるのかなと思います。特にプラスチック系のごみの排出量が10%以上増えているという自治体があると報道にもありました。今はある程度落ち着いたかと思いますが、やはりかなりの量であると思われるので、そのようなキャンペーンや運動というのもあって良いのかなと今のお話を伺いながら思いました。もちろんどこまでその実効性があるのか、そして色々な障害を認識して実施していく必要があると思います。

【___委員】家庭では分別を頑張っていると思います。スーパーでもレジ袋の削減が浸透してきました。ただ普段スーパーに行くと、スーパー側の取組がまだまだなのかなと思います。例えば鶏肉をトレイに入れなくて良いのではないかと、果物類は個々で買えば良いのではないかなどそのようなところで無駄に感じことがあります。事業系のごみになるかは分かりませんが、スーパー側でそのような取組の指導はしているのでしょうか。

【執行機関】市では現状、事業者に向けてごみの減量化についてパンフレットを通じてお知らせしているところでございます。新しい計画の中では事業者にそのような取組を促進していけるような施策を検討していきたいと考えております。

【___委員】会社としては、ISOの取組等でリサイクルできるものは全部分別をして、水戸市ではなく、それぞれのルールにのっとった事業者にお願いするという形で削減に取り組んでいます。循環させるという意味では店頭においては、リサイクル回収という形で各店舗実施しているという状況でございます。扱っている発泡トレイや個包装の削減などは、プラスチック製ビニール袋は既に有料化はしていましたが、10月5日からそちらを紙袋にするなどの取組をしています。ただ、事業所の場合には、ごみの削減はもちろん目標ですけれども、どちらかというと、エコという部分で二酸化炭素の排出など、地球温暖化といった取組の強化というところに重きをおいて取り組んでいるところでございます。ごみの減量化というところでは、どうしても数値目標が掲げられないところです。

【___委員】私は八百屋をやっているんですけど、きちんと包装されたものの方が高く売れる傾向にあります。例えば果物で何もせずに置いても売れないものが、ネットで包装すると取りやすくなり、高く売れることがある。そう考えるとスーパーの取組も大切だが、買い手の意識改革をしていく必要があると思います。

【会 長】コロナの影響で、人が触ったものに対して抵抗があるという人が中にはいるのかもしれない。そのあたりの消費者心理の問題は、例えば市の広報等と絡めて何かPRを行い解決していく必要があると感じました。

【___委員】私は、仕事が終わった後によくイオンに寄っています。その中で良いなと思った点がありまして、「食品ロスに御協力ください。」と記載したシールを張って値引きしたり、レジ付近にカゴを置き、賞味期限が間近なものを入れて早く買っていただくような取組をしています。また、フィルムがない状態で商品を陳列して売っておりコロナも落ち着いてきたので実際に手にとって商品を買えるという点ではありがたいと感じます。特に私は家族も少ないので袋にいくつか入っている商品が買いにくく、バラで買えるのは食品ロスにもつながっているのかなと思います。

【___委員】私は後始末が面倒くさいと思うので自動販売機で飲み物を買うのが好きではありません。何年か前までは自動販売機のところには、近くに必ずといっていいほどごみ箱があったと認識しています。しかし最近はごみ箱が近くにない印象がある。そうすると自動販売機で買って飲み終わったごみに関しては家に持ち帰って家庭のごみとして捨てられる。そういうことが一般的になりつつあると思います。そうすると、例えば自動販売機のごみ箱か自宅のごみ箱に捨てるかでごみとしての意味合いが変わってくるのか疑問に思いました。またポイ捨てなどを防ぐためには、街角にごみ箱を置けば良いと思います。そうすれば、買って、歩きながら飲んで、空っぽになったものをポイ捨てではなくごみ箱に捨てることのできる。以前他の国に行った時、そのような努力をしているまちを見かけたことがあり便利だと感じたことがありました。

【会 長】自動販売機の横にあるごみ箱に捨てる事業系ごみとなり、家に持って帰ると家庭系ごみになって分別が必要になると思います。特にペットボトルだとラベルを取ったりキャップを取ったりしてリサイクルをしている一方で事業系ごみだと、そのまま捨てられることが多いと思います。そうなった時に、街角にあるごみ箱を、誰がどういうコストを払って、回収あるいは処分・分別していくのかがリサイクル率の問題に影響してくるのかなと思います。他方で公共の場でのごみのマナーの問題などがニュースになっていますが、基本的にはどのように考えていけばいいのか事務局で考えがあればお聞かせいただければと思います。

【執行機関】公共の場に関するごみ出しについては、環境美化ということに繋がってきますので、各管理者さんが適正に環境美化に取り組めるような環境づくりを整え、働きかけるような取組を考えていきたいと思っています。

【会長】私自身ここは難しい問題だと思っています。まさに市民のごみ、あるいは環境に対する考え方が行動を大きく左右する部分かと思います。そのため第3章以降で議論していく環境教育などの取組が重要になってくると感じたところです。

【___委員】乾電池やスプレー缶などの有害ごみについては、数個なら仕方がないので家に置いてありますが、持っていくことで処分をしてくれる場所があるのか知りたいです。

【執行機関】電池に関しては品目によって事業者で回収している品目がございます。リチウムイオン電池などの充電式電池につきましては、家電量販店等で回収をしております。スプレー缶につきましては、申し訳ありませんが、現状こちらで回収をしている事業者を把握していない状況です。

【___委員】有害ごみの日に乾電池は乾電池で、蛍光灯は新聞紙に包んだりして出してもらえれば1つでも回収しています。ただ、スプレー缶などについては、基本的に中身は使い切っていただくように案内しています。中身が入っているので燃えないごみとかで出してしまうと発火してしまう恐れがありますので必ず中身は使いきったものを有害ごみとして出してください。

【___委員】先ほどリチウムイオン電池の話があり、家電量販店で引き取ってくれるとあったが、今はなかなかそういうわけにいかないところがあるみたいです。そうすると真面目に考えている人は、本当に悩んでいると思います。その辺のところをもう少し水戸市で考えていただければありがたいと思います。

【執行機関】リチウムイオン電池は現状、市で収集処理できないごみとなっています。こちらについてはどのようなものが処理できないのか、また家電量販店での店頭回収についてなど引き続き広報していくとともに有害ごみとして品目の拡大をできるような検討も進めていきたいと考えています。

【___委員】リチウムイオン電池等については、JBRCで検索してもらえればリサイクルを行っている業者を確認することができます。

【___委員】そのようなシステムを水戸市で市民に周知してもらえればありがたいです。

【___委員】JBRCのホームページを見ることがあるが、全国の業者が記載されており市民個人が該当の業者を見つけるのが難しいと思います。水戸市として販売店に御相談していただいただけではなく、水戸のここのお店で回収していますなどの具体的な情報を周知してもらえると助かります。

【___委員】ごみマガについて、私は楽しく読ませてもらっていますが、市民はどのように見ることができますか。良くできているので多くの市民に見てもらえれば効果的だと思います。

【執行機関】現状の周知方法としましては、茨城交通と関東鉄道の路線バスに紐で括りつけて、車内に配置していただいています。今年発行したものからは、水戸タクシーハイヤー連盟の御協力をいただきましてタクシーの後部座席にバス同様配置しています。また、ホームページに掲載するとともに市の公式ラインで配信させていただいております。

【___委員】イラストもすごく可愛いので、小学校や学童クラブに置いてみてはどうでしょうか。

【執行機関】御意見を参考に、今後検討させていただきたいと思います。

【___委員】施策体系について、ごみの出し方についての意識付けなどはしていきますか。

【執行機関】具体的施策の9番にある「分別の促進」などを進めていく中で、ごみの出し方に関する市民の意識付けをしていければ良いと考えております。

【___委員】「分別の促進」とあるが、これは新たな分別品目を増やしていくということを含めて考えていますか。

【執行機関】新たな分別品目を増やすということではなくて、現在ある分別品目を広く市民に理解していただけるように、これまで以上に推進していくということになります。

【会 長】環境教育の推進ということが1番目の施策として上がっていますが、非常に重要なことだと思います。先ほどの議論の中でも市民の意識であるとか、そういう部分が非常に重要だという御意見が出てきたかと思います。ごみ処理施設の見学会や環境イベントなどの他に先ほど話題になった学校などでの環境教育の推進ということについて検討をしていますか。

【執行機関】環境教育については、この他にも出前講座という制度があります。例えば町内会や高齢者クラブそして学校で生涯学習課を通じて申し込みがあれば、そちらに出向いてごみの減量の必要性、リサイクルの大切さなどの講習会などを行っております。そういった施策も引き続き積極的に展開していきたいと考えています。

【___委員】生ごみのコンポストは大きいものが多いが、小さい商品もあると聞いたことがあります。また電気式のものがあると聞いたが水戸市で補助しているものはどのようなものが対象ですか。

【執行機関】ごみを減量させる目的や、堆肥化して再利用するような目的であれば、いわゆるコンポスト容器型のものや電気式のタイプのもの、どちらも交付上限額の差異はありますが補助金の交付の対象とさせていただいております。最近、申請があった件で言うと、コンパクト型とかバック型のものでもたくさん種類が出ているようなので、目的が合致するものであれば補助金の対象とさせていただいているところでもあります。

【___委員】そのことも今後は周知してもらえれば市民として助かります。

【執行機関】引き続きそのようなことを含めて周知を続けていきたいと思います。

【___委員】環境教育の推進ということが挙げられていましたが、少し困った提案だなと思いました。私は、教育という言葉になると学校ですするという発想をしてしまいます。以前、交通教育が必要となった時に学校で交通教育を実施するということが取り上げられていて、それが全国的に広がっていきました。その時に私自身は交通教育なのだから、自動車学校ではないかと思いました。そのため環境教育の推進に関しては、重要で大切なことだが学校に丸投げするような発想はしないでほしいと思います。

【会 長】確認ですが、学校だけに限定するのがよくないのか、あるいは学校以外でやるべきだという御意見なのかどちらになりますか。

【___委員】学校だけに限定するのではなく、学校と学校以外両方で考えるべきだと思います。

【会 長】学校というのは、プリントを配れば各家庭に回っていくし、非常に広報としては効果的に実施できる場所なのかなと思います。一方で、高齢世帯の方々が抱えるごみ問題に関しては学校だけにとらわれずに全世代的に広げていくということが非常に重要であり、そういった意味で環境イベントの開催や見学会等の実施ということを今までよりも力を入れてやっていただきたいということを思いました。

【___委員】私の地域では、ごみ関係の勉強会を高齢者や子供たちを含めて毎年やっています。また交通安全関係についても、学校やPTA、地域で協力してそのようなことも実施しています。そのような輪を広げていけばいいのかなと思いました。

【会 長】その他、全体を通して何かお気づきの点等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。無いようなので本日の審議会は以上となります。